

日本木材学会九州支部教育研修プログラム

「地材地建を地力で推進」シンポジウム

中津市での先進的取り組みの成功に必要なものとは？

スギ等国産材も成熟期に達し、その需要促進が課題となっている。少品種大量生産工場の設立により集約的に低コストで生産する方法による対策が散見されるが、その需要先は大量消費地や遠隔地に頼らざるを得ない。また、消費地が集中することから競合も激しくなる。地方における地元材の需要促進は、小規模ながら地元での継続的消費をまず確立するところから始めることができないであろうか。地方の習慣や伝統に応じた生活スタイルにきめ細かく対応することも可能となる。

この様な考えから、本シンポジウムは、中津市での地材による学校等公共施設木造化の取り組みに関する研鑽を目的とし、森林の健全な維持管理を果たすための素材供給とその地域木材の特性、さらには地域建築物への地域材であるスギ材の継続的利用の可能性などをそれぞれ専門家に説明頂くとともに、その成功のポイントを議論していく。

主催 日本木材学会九州支部
共催 中津市、大分県木材組合連合会、(社)大分県建築士会中津支部、(社)大分県建築設計事務所協会中津支部、NPO法人森林誌研究所
後援 木材加工技術協会九州支部、大分県

日時：平成19年2月22日(木)

場所：小幡記念図書館研修室 ※ホームページ <http://libwebsv.city-nakatsu.jp/index.html>

(〒871-0056 大分県中津市片端町1366-1 TEL:0979-22-0679)

日程

- 主催者挨拶 13:30～13:40
九州大学大学院 教授 村瀬 安英 氏 (日本木材学会九州支部長)
中津市 市長 新貝 正勝 氏
- 講演 13:40～15:10
中津での取り組み紹介 中津市教育委員会 黒永 俊弘 氏
森林の適正な維持管理のための素材供給
NPO法人森林誌研究所 理事長 堺 正紘 氏
中津地域材の材質特性
大分県農林水産研究センター林業試験場 主幹研究員 城井 秀幸 氏
建築技術から見た地材地建の可能性
宮崎県木材利用技術センター 構法開発部長 飯村 豊 氏
- パネルディスカッション 15:20～16:30
コーディネーター 九州大学大学院 教授 村瀬 安英 氏
パネラー 中津市 建築課長 中野 俊祐 氏
NPO法人森林誌研究所 理事長 堺 正紘 氏
大分大学 教授 井上 正文 氏
宮崎県木材利用技術センター 構法開発部長 飯村 豊 氏
大分県農林水産研究センター林業試験場 主幹研究員 城井 秀幸 氏

参加費 1000円(資料代として当日支払い)

参加申し込み FAXあるいはe-mailで、氏名、所属、連絡先(住所、電話番号、FAX番号)を以下の連絡先へご連絡下さい。

連絡先 〒812-8581 福岡市東箱崎6-10-1
九州大学大学院農学研究院森林資源科学部門気付 日本木材学会九州支部
総務担当 藤本登留 TEL・FAX 092-642-2985
e-mail fujipon@agr.kyushu-u.ac.jp